

特別講義のお知らせ

言語社会研究科では、数年前から、全学経費の支援をもとに、研究科プロジェクト「東アジアの研究教育ユニットの形成」を進めています。このプロジェクトは、海外の優れた研究者を招聘して、研究科の既存の講義ないしゼミナールと関連させるかたちで授業を担当していただき、研究科の研究教育の一層の国際化をはかるものです。

今年度は、韓国の延世大学社会学教授のキム・ワンベ（金玉培）先生をお招きして、「グローバリゼーション」「共同体」「移動」「多文化主義」をテーマにした講義をおこなっていただきます。社会における言語の問題を考える際にも、こうした社会学的な視点がないと空虚な議論におちいってしまうことがあります。今回の特別講義は、そうした観点から、あえて社会学的な方向付けをとることにしました。

特別講義の予定は以下の通りです。

1月15日（火）4限（14:40～16:10）

「リスク社会（risk society）」と共同体の紐帯——韓国社会の自殺現象を背景に」

1月21日（月）5限（16:20～17:50）

「グローバル化とひとびとの移動—「多文化家族」の現在と未来」

場所：国際研究館4階共同研究室2

使用言語：英語および韓国語、日本語通訳あり

今回お呼びするキム・ワンベ先生は、現在韓国で最も注目されている社会学者のひとりです。専門は産業社会学、社会成層論、都市空間論など幅広い分野にわたっており、近年はグローバリゼーションと労働力移動の問題について研究を進められています。今回のお話は、韓国社会をひとつの実例としてとりあげながら、東アジア全体を視野に入れるものです。

学生のみなさんの積極的な参加をお待ちしています。

イ・ヨンスク